

# Fondation tara océan

探査と共有

フランスでは、海洋に特化した最初の公益財団法人  
(一社)タラ オセアン ジャパンは、その日本支部です

1. 探査 海を理解するため
2. 共有 変革のため

科学的知識を多くのステークホルダーに、共有し、  
海洋の重要性をお伝えしています

タラ オセアンは、20年にわたり、世界中のトップレベルの研究所や組織と共同で海洋科学を発展させてきました。

科学探査船タラ号は、12の探査で60カ国以上に寄港し、57万キロメートルを航海した海に浮かぶ研究室です。



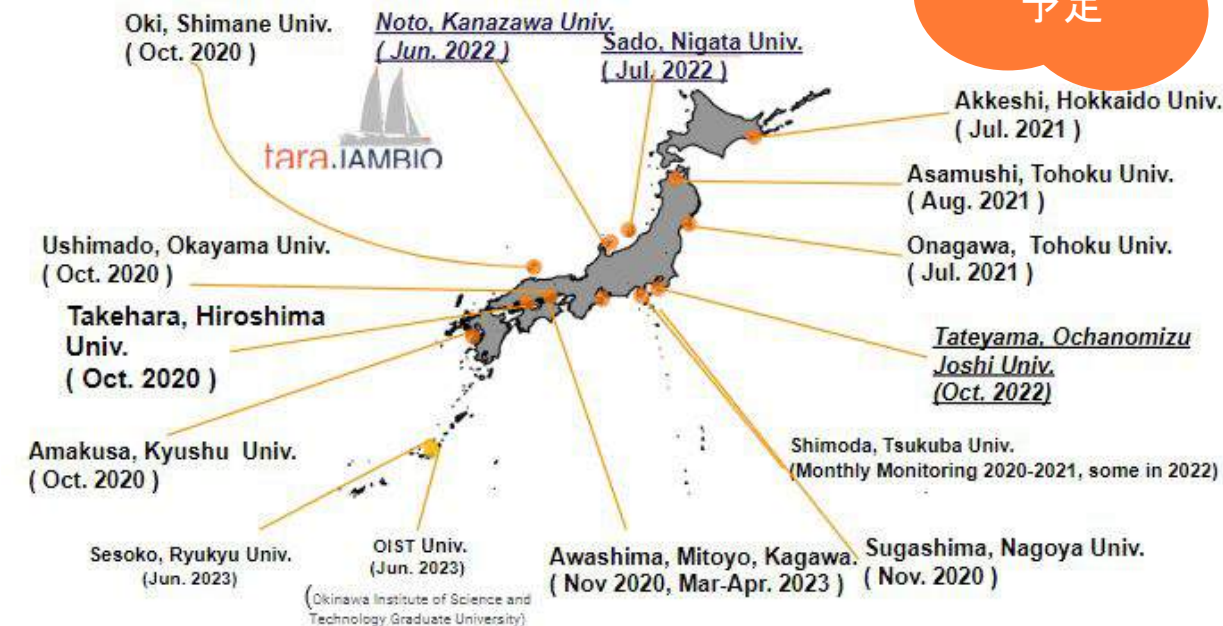
# Tara JAMBIO マイクロプラスチック共同調査 (2020-2023)

## 日本沿岸海域で、表層水と堆積物を同時に調査した過去最大規模の調査

JAMBIOのネットワークを利用し全国14箇所とプラスで香川県三豊市の粟島にて日本沿岸の表層水と堆積物、浜におけるプラスチック汚染を調査

## すべてのサンプルからプラスチックが検出

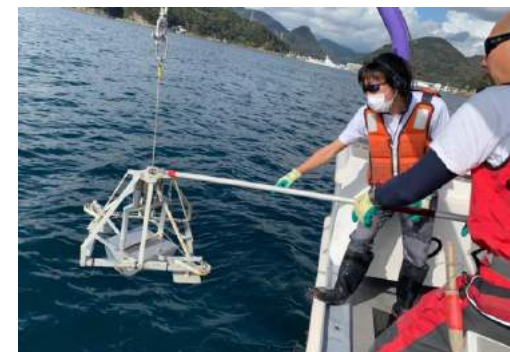
現在、科学者が採集したサンプルを分析中



2024年に  
論文発表  
予定



海水表面のプラスチック汚染を調査



海底の堆積物のプラスチック汚染を調査

## 共有：教育・啓発イベントを全国で開催しました



ビーチクリーンと  
マイクロプラスチック  
採取体験



- ・科学探査船タラ号や、タラオセアンの活動を通して、海に起こっている現状について学ぶセミナー
- ・ビーチクリーンで実際のゴミを観察。科学者が行っているやり方で浜でのマイクロプラスチックの採取体験
- ・ドキュメンタリー映画「マイクロプラスチック・ストーリー」の視聴
- ・グループで映画の感想や自分たちができることをディスカッション

などの内容を組み合わせるプログラム。対象者は子どもから大人まで。社会課題を可視化し、実際に体験し、自分達で考えることにより **自分事化**し、実際に**アクション**を起こす事を促すことを大切にしています。  
**1万人以上の方にメッセージを届けました！**

## 共有：教育・啓発イベント

### 2020年-2023年の教育・啓発活動総計

	開催数	参加人数
イベント	33	983
シンポジウム	4	280
セミナー / プレゼン	28	1,656
展示	13	9,011
<b>合計</b>	<b>78</b>	<b>11,930</b>

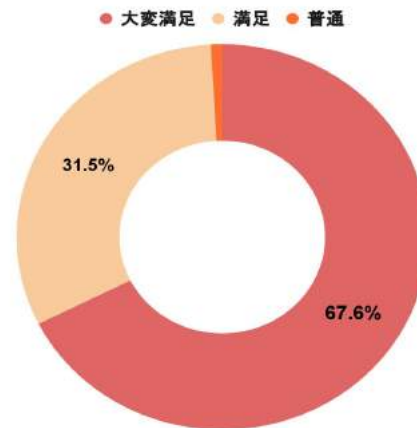
※展示人数は一部不明のためカウントせず

日程	場所	参加人数
2020-10-17	広島・竹原	30
2020-10-28	熊本・天草	20
2021-03-19	香川・粟島	50
2021-06-23	静岡・下田	20
2021-07-21	宮城・女川	20
2021-07-21	宮城・網地島	50
2021-07-30	北海道・厚岸	8
2021-08-06	青森・浅虫	15
2021-08-06	青森・浅虫	20
2021-11-10	静岡・下田	8
2021-10-14	静岡・下田	6
2021-11-20	兵庫・姫路	50
2021-11-23	香川・粟島	30
2021-11-24	香川・三豊	70
2022-07-03	新潟・佐渡	21
2022-09-04	神奈川・小田原	60
2022-09-24	香川・粟島	8
2022-10-07	京都	30
2022-10-22	千葉・館山	17
2022-10-23	千葉・館山	25
2022-11-02	静岡・下田	6
2023-03-04	香川・粟島	10
2023-05-22	静岡・下田	9
2023-05-23	静岡・下田	12
2023-05-24	静岡・下田	6
2023-05-27	広島・瀬戸田	12
2023-05-28	広島・瀬戸田	20
2023-06-04	沖縄・名護	21
2023-06-10	香川・粟島	22
2023-07-21	千葉・館山	18
2023-09-22	神奈川・川崎	22
2023-11-03	香川・粟島	18
2023-11-07	神奈川・湯河原	19

### 2020年-2023年のイベント開催リスト

### イベント後アンケート過去 16回の 参加者満足度 (5段階評価)

※111名回答 平均回答率:49%



### イベント後参加者の感想・意見の一部

環境への意識が高まる為の活動等、自らも考えたい!

プラゴミ ゼロ生活を昼食時だけでも、実践したい!

地球環境について、もっと深く知りたいと考えた

学校の宿題などを通して、知らない人に伝えたい!

発生抑制をもっと呼びかける運動を起こしたいと感じました!

# TARA JAMBIO マイクロプラスチック共同調査 (2020-2023)

## 共有： 調査に同行した アーティストの アート展を開催

調査に同行したアーティスト(11組)によるアート展  
2023年3月～4月開催  
後、不定期開催

会場：旧栗島小学校 (多摩川と豊平川が交差する島、15.06°N)

会期：2023/3/25(土)～4/30(日)  
【毎週土曜日・日曜日・祝日】  
※春休み期間中 3/25(土)～4/7(金)休館日以外毎日開催

時間：10:00～16:45

監修 日比野克彦

参加アーティスト  
宇野好美 | 金澤佑哉 | 菊地良太 | 清中愛子 | 佐野桃和子 | タオウグ サリナ  
武田萌花・上川桂直恵 | 田中マコト | 右下翔基 | 関谷福藏 | 渡邊泰成

### TARA JAMBIO マイクロプラスチック共同調査

TARA OCEAN JAPAN が全国の国立大学に所属する、臨海実験施設、水産実験施設の連携組織「JAMBIO-Japan」が共同連携機構となり、立ち上げた日本発のローカルプロジェクト。日本発の沿岸海域のマイクロプラスチック汚染の定量化及び海洋生物への影響を究明する。2020年より毎年定例調査を実施。これまででは高濃度の汚染から南西日本発の太平洋まで12回の調査を実施。日本は、マイクロプラスチックのホットスポットとされているが、沿岸海域の調査データはまだまだ少なく、日本の沿岸海域の表層水と、魚類の汚染物、特にエビやマイクラプラクチック汚染の調査は、ほとんど行われていない。調査活動は、科学研究船タラオの調査と同様に、調査で得る各船では、教育・啓蒙活動を行い、マイクロプラスチック汚染の削減や、その他の海洋資源利用への知識、関心を高める活動を行う。また、アーティストもこの科学調査に参加し、その経験をもとに制作したアート作品を通して、海洋保全の重要性を伝える。

2003年に「アコクメー」造船者のアコメ・トル・トルプが立ち上げた公益財団法人、タラオセアン財団の日本支店、タラオセアンでは、世界中の海を「科学調査船 タラオ」で科学者アーティストと船長、船医連帯化マイクロプラスチック汚染に立ち向かう。さまざまな海洋生物の汚染による影響の調査をめぐり、タラオセアン・ジャパンでは、タラオセアン財団の理念と実践を構築し、科学調査船タラオの活動を支援するとともに、日本発のプロジェクトを推進。科学者とアーティストがともに船を乗りこえて活動することで、日本発の教育の力で、見えにくい海の汚染を可視化し、可視化し、海を全世代の重要な宝庫と見做す。

佐野桃和子   笠島 作のすきた夢	清中愛子   牛窓 寄生蟹	渡邊泰成   下田 Recyclebox 循環箱	宇野好美   下田 砂上の楼閣
右下翔基   竹原 Placid ocean, Plastic ocean	関谷福藏   牛窓 Mother.	金澤佑哉   天草 海崎子甲羅	タオウグ サリナ   下田 The world of Placton
武田萌花・上川桂直恵   天草 to see/sea		菊地良太   下田 salt	田中マコト   隠岐 umi_a / umi_b

調査地と協力機関

- 島根大学生物資源科学部附属生物資源教育研究センター | 隠岐
- 海洋生物科学部門 (隠岐臨海実験所)
- 岡山大学理学部附属生物資源実験所(U104) | 牛窓
- 筑波大学下田臨海実験センター | 下田
- 広島大学大学院統合生命科学研究科  
附属瀬戸内湾フィールド科学教育研究センター | 竹原
- 竹原大学 | 竹原
- 名古屋大学大学院理学部附属臨海実験所 | 牛島
- 九州大学理学部附属天草臨海実験所 | 天草

同時開催 | 種は船TARA JAMBIO プロジェクト

<TANeFUNeオープンラボ> 参加自由/無料  
3月25日(土)26日(日)の二日間、TANeFUNeが栗島近海で海洋環境調査を一日行われます。採集してきた海水を捉えて、鏡筒に覗いたばかりの停泊したTANeFUNeの船上でオープンラボを開催いたします。今日の日に栗島の海にいた小さな小さな微生物や要菌の海にもあるかもしれないマイクロプラスチックの観察体験ができます。

オープンラボ開催時間  
3月25日(土)、26日(日)  
11時～12時、13時～14時、14時半～15時半

場所  
ルポール栗島前棧橋

## 共有：調査に同行したアーティストのアート展を開催



深島・3月25日～4月30日



『メジナの絵』を、船の上を  
想起させる空間で鑑賞する  
絵画インスタレーション作品



調査で採集された海底堆積物から  
作った釉薬を使用



プラスチックに付着するバクテリアから  
構想を得た作品「寄生蟹」